

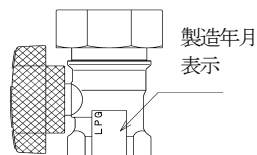
6. 気密検査及び作動確認

取付終了後は、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に定められた気密試験およびガス栓の開閉操作を行い、作動状態の確認をしてください。

⚠ ハンドルは「全開」でご使用ください。ハンドル「中途開」ではガスの流れが少なくなり正常に燃焼しないおそれがあります。

7. 設置後の維持管理

LPガス設備の安全を図るために、ガス栓本体に数字で表示してある製造年月と型式名(KBZ-2、KBZ-3)とメーカー名(桂精機製作所)を消費者保安台帳に記録して、期限管理によって保安確保に万全を期してください。



この製品の交換期限は製造後10年です。また、交換期限内でも性能に異常が生じた時は、新品と交換してください。製造年月は、本体六角部に数字で表示してあります。

8. ガス使用者への説明事項

取付工事完了後、ガス栓使用者に対し、「LPガス検査孔付きねじガス栓KBZ-2、KBZ-3取扱説明書」について説明し、内容を理解して頂いたうえ使用者に保管するようお渡しください。

保証書は、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。保証期限などが明記されています。

連絡先

株式会社 桂精機製作所

〒221-0052
神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1
TEL 045-461-2334 (代)

LPガス販売事業者
LPガス工事施工者

のみなさまへ

LPガス用検査孔付きねじガス栓 KBZ-2、KBZ-3 取扱説明書

取付工事は、液化石油ガス設備士の資格を有する方が行ってください。

この取扱説明書は主としてLPガス販売事業者・LPガス工事施工者の方を対象に1. 製品説明
2. 安全のために、3. 工事施工上の注意事項、4. 取付手順、5. 気密検査方法、6. 気密検査及び作
動確認、7. 設置後の維持管理、8. ガス使用者への説明事項、連絡先の順に作成してあります。

お客様に安全・快適にLPガスをご使用していただくため、液化石油ガス法・省令補完基準・
設備士講習テキスト等の基準を遵守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全
を図ってください。

なお、この説明書で ⚠ は警告を表わしたものです。

1. 製品説明

LPガス専用の検査孔付きねじガス栓（以下、ガス栓と呼ぶ）は、調整器の出口などに設置する
ものです。

⚠ この製品は、（一財）日本エルピーガス機器検査協会の検査に合格した製品です。
マークを確認してください。

⚠ 製品には「保証書」と「取扱説明書」を同梱してありますので確認してください。



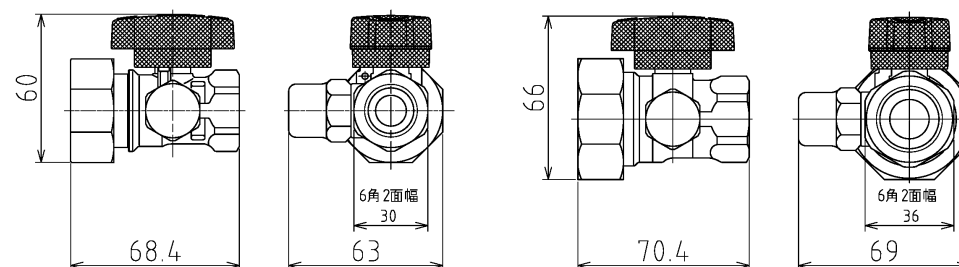
合格マーク

主な仕様

項 目	主 な 仕 様	
型 式	KBZ-2	KBZ-3
入 口 ね じ 寸 法	ユニオンナットM35×2	ユニオンナットM42×2
出 口 ね じ 寸 法	Rc1/2	Rc3/4
空 気 流 量 圧力損失0.1kPa時の 規程値 (LPガス換算参考値)	6000 $\frac{\text{L}}{\text{h}}$ 以上 (約9kg/h以上)	10000 $\frac{\text{L}}{\text{h}}$ 以上 (約15kg/h以上)
使用圧力範囲	2.3~3.3kPa	
使 用 ガ ス	L P ガ ス	

KBZ-2

KBZ-3



2. 安全のために

警告

- ・このガス栓は、LPガス設備以外には使用しないでください。LPガス専用のガス栓です。
- ・ガス栓は、分解・改造は絶対にしないでください。
- ・ガス栓は、地中埋設用には使用しないでください。
- ・冠水する場所、湿度の高い場所に設置しないでください。
- ・有害なガス（アンモニア・亜硫酸ガス等）のある場所には設置しないでください。
- ・ガス燃焼器具の炎のそばや輻射熱を受ける場所には設置しないでください。
- ・物（つららも含む）が落下したり、衝撃を受ける場所に設置しないでください。

3. 工事施工上の注意事項

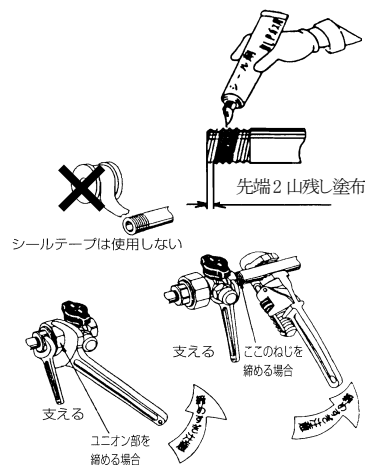
警告

- ・シールテープは使用しないでください。
- ・ガス栓の取り付けに際しては、ねじ込み側の六角部2面幅にスパナをかけねじ込んでください。
- ・ガス栓に曲げ等の無理な力が加わらないように施工してください。
- ・配管用パイプレンチをスパナの代用にしないでください。キズが付き腐食の原因となります。
- ・配管に取り付けるときは、ねじ部の切粉やゴミ等の異物を完全に除去し、シール剤がガス栓内に入らないようにしてください。
- ・ガス栓の取付においては、本体側面にガスの流れ方向が矢印（←）で表示してありますので、これに従って取り付けてください。

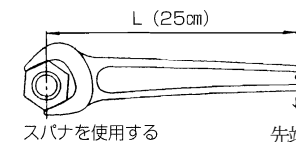
4. 取付手順

ガス栓と鋼管を接続する。

- ①鋼管おねじ先端部2山残し全周にわたり、耐LPG性不乾性シール剤を塗布してください。
- ②接続に際しては、ガス栓のねじ込み側の本体六角部2面幅にスパナをかけ、Rc1/2はトルク約35N・m（350kgf・cm）、Rc3/4はトルク約50N・m（500kgf・cm）以下でねじ込んでください。



締付力は、長さ25cmのスパナの先端にRc1/2は約140N（14kgf）、Rc3/4は約200N（20kgf）以下の力を加えることを目安にしてください。



ガス栓と調整器を接続する。

- ①パッキンが付いていること及び損傷の有無を確認してください。
- ② ねじ込み側のユニオン部2面幅に工具かけ、適切な力でねじ込んでください。

⚠ 過度な力で締めこまないでください。エンドキャップ(図A)がゆるむ可能性があります。

5. 気密検査方法

警告

- ・検査孔部は、JIS S 2135で定めるゴム管用プラグ 構造となっていますので、ゴム管用ソケットを取り付けてご利用ください。
- ・気密検査及び空気抜き時には、検査孔内にゴミが入らないようにしてください。ゴミが混入するとガス漏れ等の原因となります。
- ・気密検査及び空気抜き終了後には検査孔部根元のOリングに異常のないことを確認のうえ、プラグキャップを確実に取り付けください。
- ・ハンドルの動きが重くても、ハンマーなどでたたいて無理に回さないでください。

上流側・下流側同時漏えい試験（図A）

ハンドル全開状態にて気密検査及び空気抜きとしてご利用す。

下流側漏えい試験（図B）

ハンドル全閉状態にて気密検査及び空気抜きができます。

上流側漏えい試験（図C）

ハンドル全開状態にて、小ねじをハンドル表面と同じ位置まで緩め、全閉の位置（図B）から反対方向に180°回転させれば気密検査及び空気抜きができます。

緩めた小ねじを元に戻すときはハンドルを全閉位置（図B）まで戻してから確実に締め付けてください。

